

# チャットボット受注拡大

## 富士通

### 自治体・保健所・医療向け 新型コロナ対策支援

**ウズコロナ**

富士通は新型コロナウイルス対策の支援に向けて、自治体や保健所、医療機関を対象にチャットボット「コードシンプ」サービスの受注拡大に乗り出す。住民からの問い合わせ対応を人手から、24時間の自動応答が可能なチャットボットへの置き換えを促すことで、ユーザーの作業負担の軽減に加え住民サービスの向上につなげる。新設した「新型コロナウイルス感染症対策チーム」を中心に、全国のシステム技術者（SE）との連携も強化する。



新型コロナウイルスの拡大抑制や住民の健康管理など、の支援で活躍する富士通の対策チーム

## 24時間の自動応答可能

富士通は新型コロナウイルス感染症対策チームを2月下旬に発足。感染拡大や人手不足など、各現場で勃発するさまざまな課題を共有しながら、チャットボットの機能拡張や改良に力を注いでいる。5月上旬時点で、全国で20自治体や保健所60カ所以上がサービスを提供し、大学の小坂健教授と長

崎大学熱帯医学研究所の山藤栄一郎医師の協力を得て、濃厚接触者自身がスマートフォン操作のみで健康状態を簡単に入力・報告できるクラウドベースのチャットボットなども開発し、宮城県や川崎市などで成果を積み上げている。

長崎県には、ホームページ上で新型コロナウイルス感染症患者の接点者の健康管理を行う「接点者調査チャット」に加え、長崎市内に停泊中のクルーズ船に乗り込んでいる外国籍中心の船員の健康状態を管理するため、チャットボット対応ツールの英語版も提供した。多くの感染者が船内において、一斉に下船させることができない状況下で、チャットボットの機能改良を迅速に繰り返しながら、感染拡大の防止で成果を上げた。

# 日産、米にSUV今秋投入

## 「ローグ」業績立て直しのカギに 全面改良

日産自動車は今秋に改善を急ぐ。ローグは米国内でスポーツ多目的車(SUV)「ローグ」の第一弾。販売の行方が業



改善を急ぐ。ローグは米国内でスポーツ多目的車(SUV)「ローグ」の第一弾。販売の行方が業

# 自動運転車両を社会実装

## 愛知県、3市で実施

【名古屋】愛知県は、世代移動通信システム(5G)で遠隔監視する小型バスなどを無人運転の状況などで走る。NTTドコモや名鉄鉄道などのグループに事業委託する。

9月以降に、常滑市と西尾市、長久手市で自動運転車両の社会実装の導入シミュレーションを行う。商用の第5

港島では、小型バスを空港利用者の移動手段として1カ月運行する。3次元マップ方式や道路上の磁気マーカーを車両の磁気センサーで読み取るシステムなどで天候に左右されない安定運行を目指す。

西尾市では、自動運

# AIロボが算数の先生に

## 学習塾向け指導サービス

ソリユシヨングート(東京都荒川区、鈴木博文社長、03・6806・6400)は、学習塾向けに人工知能(AI)ロボットによる指導サービス「ユニボ先生の算数教室」を17日に始める。学習塾や児童保育で指導する人手不足と、アフターコロナの非接触サービスの需要に対応する。ロボット台数ベースで、初年度1000台の売り上げを目指す。

月額4万円(消費税抜)の料金で小学1〜6年生を対象に、AIロボットの講師が1対1で児童に個別指導を行う。ロボットは生徒の自宅に置かれては、塾の個別アプリで確認すること。決められた内容を順番で流すタブレットの学習と異なり、ロボットが個々の生徒に応じて進度や教える方を替え、「解き方を生徒に伝授しコミュニケーション

# 事故を早期に検知

## 自動緊急通報システム

独ボッシュは、今後、ドイツなど欧州でのサービス導入を計画する。日本での時期は未定だが今後の展開を検討している。

ボッシュが手がける自動車の緊急通報システムに対応したツールセンター「カーサービス」を介して、スマートフォン(応用ソフト)を通じて救急サービスに通報する。

センサーで加速度と角速度を毎秒100回測定し、車体角度や車体方向が変化する速さを検知する。独自のアルゴリズムにより事故に遭ったのか、駐車中に車両が単に転倒した

「愛三」は愛知県市町村0年度で、愛知県の愛三賞を受賞した。

「愛三」は愛知県市町村0年度で、愛知県の愛三賞を受賞した。

「愛三」は愛知県市町村0年度で、愛知県の愛三賞を受賞した。